TYPE F

企画を通じて食に携わる
白石食品工業株式会社　生内 亜弥さん



どんな仕事をしていますか？
シライシパンは、主にパンを製造し、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどに販売している会社です。私の仕事は、商品の企画、営業のサポート、他メーカーとの営業連携であり、会社の定番商品、ヒット商品を生み出すことを目指して商品づくりに取り組んでいます。

生内さんってどんな人？
小さい頃から、漠然と食や企画することに興味があったので、大学では主に栄養化学を学んでいました。昔も今も食べることが大好きで、旅行先や岩手の美味しいお店をよくチェックしています。

仕事のやりがいを教えて！
食品関係の仕事は、「衣食住」に関わることができ、特に皆さんの生活の中の基本となる部分となるので、やりがいを感じます。お客様が「このパン美味しかった！」、また友人や家族が感想や「買ったよ！」と連絡をくれたりするのが嬉しいです。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やっておけばよかったこと」
大学時代は、サークル活動と、アルバイト。勉学との両立がかなり大変でしたが、サークルに入ったことで、交流が広がったことがよかったと思います。アルバイトも、学生時代では経験できないことだと思いますし、今でもこのバイトやればよかった、と思うことがあるので、好きなことにチャレンジすることをおすすめします。

ーーーーーーーー-
白石食品工業株式会社
https://www.shiraishipan.com/

TYPE F

こっそり、まちづくりのお手伝い
株式会社邑計画事務所　加倉 侑輝さん



どんな仕事をしていますか？
「地域の困りごとを解決するお仕事」です。当事務所は、盛岡市に本社をおき、岩手県や北東北の地域計画、まちづくりやむらづくりのお手伝いをしています。社名に使われています『邑（ゆう）』の字は、人が集まり住む所を意味するもので、会社の設立にあたって、「まちやむらに、夢のある未来をひらき、人々が願う理想郷を創り上げていきたい」という「思い」を込めたもの。私たちは「地元のコンサルタント」として、地域の人々の暮らしや風土に根ざした計画づくりを第一に考えています。常に現場を重視し、対象となる地域にできるだけ数多く足を運び、多くの人に直接会って話しを聞き、生の地域情報を計画づくりに活かすことをモットーとしています。

入社のきっかけは？
まちづくりや地域コミュニティにもともと関心がありました。邑計画は半世紀以上にわたって岩手に根ざしたお仕事をしていて、ここで地域のあらゆる場面に関わっていきたいと思って入社を決めました。

仕事のやりがいを教えて！
関わってくださるすべてのみなさんと１つの成果を完成させたとき。年度末に納品が終わった瞬間。そんなときにやりがいを感じますね。

印象に残っている仕事のエピソード
岩手県の沿岸市町村で津波避難に関わる住民ワークショップを開催して、一緒に悩み、考えて避難場所や避難路を設定した仕事を担当した時のことは今でもとても鮮明に覚えています。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やっておけばよかったこと」
自分の学部以外の分野にいる学生との交流や、その分野の勉強、経験をしたことは、「やっておいてよかった」と思うことです。
デザイン、英語はもっとやっておけばよかった。。。

ーーーーーーーー
株式会社邑計画事務所
https://www.u-keikaku.com/

TYPE F

採用を通じて関わる人や企業を笑顔に
株式会社パルコホーム　高橋 祐輝さん



どんな仕事をしていますか？
採用や育成に関わることなど、社内の「人」に関わる業務を担当しています。新卒や中途採用、従業員の勤怠管理、研修等の起案や運営、そして社内や社外の行事の運営など、かなり幅広いです。

入社のきっかけは？
自分の強みである「採用」の経験や知識を活かして、地元に貢献できる会社だと思い入社しました。

仕事のやりがいを教えて！
「採用を通じて、就活中の方に会社の魅力をお伝えできること」「自分が好きな会社を、入社する人にも好きになってもらえること」がこの仕事のやりがいだと感じています。

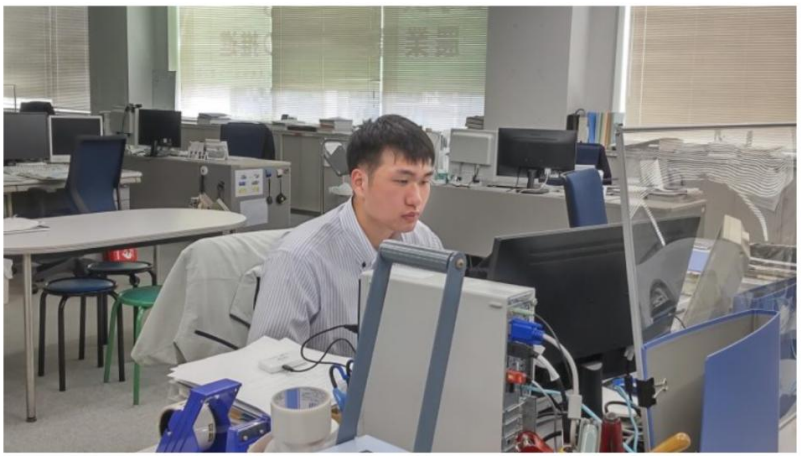
印象に残っている仕事のエピソード
採用活動を通じて会社を「好き」になってもらえたことです。自社の魅力や特長をさまざまな形で伝えた結果、相手に興味を持ってもらい、応募につながったのは純粋に嬉しいです。

学生時代に「やっておいてよかったこと」「やっておけばよかったこと」
実は卒業単位がどうしても２単位足りず半年留年をしてしまい、当時の就職先等に迷惑をかけた経験が…。でも、今思うとその経験があってよかったと思います。

ーーーーーーーー-
株式会社パルコホーム
https://www.palcohome.com/

TYPE F

誠実に仕事と向き合い、信頼関係を築き、農業に貢献したい
岩手県土地改良事業団体連合会　吉田 由希さん



盛岡の高校で、電子機械について学んでいた吉田さん。「食を支える農業に貢献するために、高校で学んだ知識を活用したい」と考えた吉田さんは高校を卒業後、現在の職場に就職しました。1年目に管理指導課に所属することになり、現在も同じ課で専門的な仕事をしています。業務で関わる人に貢献したいという想いがあります。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

かんがい用のポンプや取水ゲート等農業水利施設の点検をし、適切な管理方法を土地改良区の担当職員に指導しています。適切な管理方法の指導とは、施設を長寿命化するために部品の交換時期や維持管理の方法を指導することです。対象の施設がある現地で説明や指導を行います。また、土地改良区や市町村の施設の管理担当者に向けて研修会を行います。さらに、土地改良区主催のPRイベントの取材等も行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

元々、日常的で身近な「食」に興味があり、「農業が食を支えている」ということに気づき、農業に関心を持ちました。また、高校時代に機械について学んだので、この基礎知識を農業の分野に活用できるのではないかと考え、この仕事に携わりたいと思いました。さらに、自分と関わる人をサポートするのが得意なので、土地改良区の方々と深く関わる仕事を行う管理指導課で、自分の長所が発揮されると思いました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

高校時代に学んだ機械の基礎知識を活用できると思いましたが、入会してから知識を学ぶことが多い印象でした。そのため、1年目は仕事で使う多くの知識を覚える必要がありました。2年目以降は、1年目で学んだことを活かしつつ、業務の特性に臨機応変に対応していきました。このように、多くの知識を必要とし、状況に応じて対応していかなければならない業務であるため、仕事で使えそうな最新の情報を常に手に入れることを意識しています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

昨年、ストックマネジメントの業務を任せられたことが印象深いです。ポンプやゲート等の施設を長寿命化するために、整備の計画を立てました。これまでに身につけた知識や施設の診断結果に基づいて業務を行うため、難しい仕事だと思いました。この業務で、自分が考えた計画が承認されたときは、入会したてのころからの目標である、「今までに学んできた知識を活かすこと」ができたと思い、嬉しかったです。

Q. これからの目標を教えてください。

土地改良区の方々が、「土地連の指導で維持管理が楽になった」と思えるような指導、説明、施設の点検をすることです。そのために、正確な知識に基づいて説明することや、最新の知識を学び続けることを、日頃から心がけています。また、電気関係の資格を取る予定です。資格の勉強内容が、業務に活かせると思ったからです。業務に役立つ知識を手に入れるために、勉強を続け、様々な資格を取りたいです。

インタビュアー：岩手県土地改良事業団体連合会　　一戸　千史

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

岩手県土地改良事業団体連合会
〒020-0866　盛岡市本宮2-10-1
URL　http://www.iwatochi.com

TYPE F

より良い環境を目指して
オヤマダエンジニアリング株式会社　晴山 直樹さん



盛岡市内の高校を卒業後、縁あって現在の会社に入社した晴山さん。営業職として、お客様とのコミュニケーションを通じ社内外から頼られる存在です。親身に寄り添う営業を目指して働いています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

お客様への定期訪問、機器の水質検査をしています。特にボイラーや空冷機を主としていますが、それだけに留まらず、工場の設備機器の提案やメンテナンスにも携わっています。また、温浴施設の設備提案、洗浄作業やレジオネラ菌の検査等、多様な設備機器を対象としています。またその一方で、主任として部下の育成を行っており、社内事務処理及び現場作業の指導等、若手社員の見本となるよう意識して仕事しています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

高校卒業後に勤めていた職種は接客業で、設備機器を取り扱う現職は畑違いの環境でした。以前働いていた職場ではお客様と深く関わりあう機会が少なく、業務に慣れてくると飽きが出始め、手に職をつけたい、人と深く関わりあえる仕事に就きたいと考え、営業職の募集をしていた現在の会社に就職しました。思想の近い先輩や同僚が多く、その点が気に入っています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

他人との関わりが多く、人の役に立ちたいという気持ちがないと成り立たない仕事です。部品一つを交換するだけでも複数人の協力を仰ぐ為、円滑に進めるには日頃からよくコミュニケーションを取り、協力できる体制を整えることが大事だと感じます。また、部署ごとに専門分野を習得していくことで個人のレベルアップにも繋がり、手に職がついていくのも魅力的な点です。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

温浴事業を得意としており、今まで会社内で誰も手を付けたことのない提案をしたいと考えていたところ、社内でも初めて取り扱うことになる電気風呂の設置という話が上がりました。新しく始めるのが大変だというのは勿論のこと、特に印象に残っているのは、何気ない雑談からこの件が浮上し、実現した仕事であるという点です。人と深く関わるという思いが実現しました。

Q. これからの目標を教えてください。

現在扱っている豊富な商品や業務の知識を増やす、社内では上司のスキルを習得しより良い職場環境を目指したいと思っています。常に新しい仕事を手がけていきたいと考えることもあり、働き方にも目を向けています。今の世の中に合った手法を取り入れていくことで、よりよい環境が実現できればと考えています。若手の熱意に触れ、先輩社員もより意欲的になればという考えがあり、より良い環境を目指していきたいと思っています。

インタビュアー：佐藤　逸平
ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

オヤマダエンジニアリング株式会社
〒020-0015　盛岡市本町通3-18-8
URL　https://oyamada-eng.co.jp/

TYPE f

岩手の農業に貢献する、一人前の技術者を目指す
岩手県土地改良事業団体連合会　鈴木 理史さん



奥州市の高校を卒業後、県外の大学に進学した鈴木さん。Uターン就職を目指し地元岩手県で就職活動をしました。その中で、大学で学んだ分野に関する仕事をしている現在の職場に出会いました。日々の業務を通し、一人前の技術者を目指し奮闘しています。

ーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

主に、ほ場整備事業に関する仕事をしています。ほ場整備とは、農村の農地や道路、水路などを農家の方が使いやすい形にすることです。その中でも実際に工事をする前の調査、設計などの仕事をしています。調査や設計は専門性が高い仕事で、日々学習しながら仕事に取り組んでいます。自分のアイディアや設計したものが実際に整備され、農村の振興に生かされるため、非常に達成感を感じられる仕事です。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

もともと地元岩手県の役に立つような仕事に就きたいと考えていました。岩手県は東北6県の中でもほ場整備率が低く、また近年では2016(平成28)年の岩泉豪雨災害など大雨による災害も多発し、農地も大きな被害を受けました。そのような中、大学で学んだ農業土木の分野を地元で生かすことができればと考え、就職活動を始めました。就職活動をする中で農業土木という分野を専門としている現在の仕事にひかれ入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

専門性が高い仕事のため、新人のうちは分からないことが多く苦労しましたが、仕事をやり切ったときの達成感は大きいです。3年間の新人教育プログラムがあり、先輩方から手厚い指導を受けることができるので、最初に感じていた不安もなくなり、スムーズに仕事ができるようになりました。そのほかにも職員研修で宮城県閖上(ゆりあげ)地域への復興状況の視察やダム工事の現場見学、自動車工場の見学などもしました。ドローンやGIS(地理情報システム)などの新しい技術にも力を入れている、おもしろい職場だと感じています。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

これまでやってきた仕事の中で印象的なのは「ため池ハザードマップ」の作成に関する業務です。近年、ため池が大雨や地震により決壊したというニュースが珍しいものではなくなってきました。ハザードマップ作成の作業を実際にやってみると、現地をよく知る地域住民の方からの意見など参考になることが多く、ほ場整備の設計では経験できない経験でした。ハザードマップ作成ではさまざまな視点から物事を見る重要性に気づかされました。

Q. これからの目標を教えてください。

私はまだまだ駆け出しの新人です。この業界ではさまざまな分野を網羅できる人材が求められています。一つのことにのみ特化するのではなく、上記のハザードマップ業務などさまざまな分野にも対応できる人材になりたいと考えています。与えられた業務ができたからそれで満足するのではなく、より良いものを作り上げる、使う人が使いやすいように設計するといった気持ちを大事にしたいです。

インタビュアー：榎本　利憲

ーーーーーーーーーーーーーーーー-

岩手県土地改良事業団体連合会
〒020-0866　盛岡市本宮2-10-1
URL　http://www.iwatochi.com

常に前進姿勢のワークライフバランス
エクナ株式会社　菊池那紀さん



花巻市内の高校を卒業後、地元で就職するために盛岡の専門学校に通いました。専門学校での学習やボランティア活動を通し、「地元就職」「営業職」「IT分野」という3つの観点から就職活動を行い、縁があって現在の会社に入社しました。

ーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

民間企業へのOA機器・ソフトウェアの販売活動を行っています。営業職なのでお客様とのコミュニケーションを重要視するのはもちろん、顕在・潜在課題解決への提案活動も行っています。社内では、お客様への対応準備や各種打合せ、情報の共有等も行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

もともと地元就職を一番に考えているなかで、専門学校で学んだIT分野に関わる仕事を行いたいと現在の仕事に関心を持ちました。さらに学生時代のボランティア活動や接客業でのアルバイトを通し、お客様と直接話ができる営業職にも興味を持ち始めました。「地元就職」「営業職」「IT」という3つの観点を揃えた企業として現在の会社を見つけ、入社したいと強く思うようになりました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

学生時代に学んだことと仕事に必要なスキルが違い学ぶことが多かったのですが、常に最新のIT情報が入ってくる環境なので、知識がついて非常に楽しいです。お客様の業種業態によって提案事項も変わることも多いですが、社内に専門知識のある技術系の部署もあり相談しやすい環境も整っています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

一番印象に残っていることは、何も知識がない状態で商品を受注してしまい、納品時お客様にも先輩方にも迷惑をかけたことです。返品などにはなりませんでしたが、信用を失墜してしまいかなり落ち込みました。その経験からお客様へのヒアリングや自分自身の商品知識の重要性を学び、行動を変えていきました。その経験から、今でも納品前にはお客様状況の確認や社内での技術的確認は徹底して行っています。

Q. これからの目標を教えてください。

会社に勤めている為、数字目標の達成はもちろん、新規顧客の獲得と既存顧客との信頼関係の維持は大きな目標です。社内では、新入社員がより相談しやすい環境作りや部署間のコミュニケーションの円滑化を目標としています。その両方を達成し、自分自身と家族・仕事のワークライフバランスを完璧にすることがこれからの目標です。

インタビュアー：エクナ株式会社　　石川　大綺

ーーーーーーーーーーーーーーーー-

株式会社エクナ株式会社
〒020-0122　盛岡市みたけ3-18-33
URL　https://www.echna.co.jp/

大好きな岩手県で地域に寄り添った仕事を！
ＩＧＲいわて銀河鉄道株式会社　田上　澪さん



生まれも育ちも岩手県の田上さん。岩手が大好きで就職活動の際も、地元で働きたいという強い思いがありました。幼い頃からさまざまな人が行き交う駅という場所が好きだったこともあり、地域に根差した鉄道会社であるＩＧＲいわて銀河鉄道に入社しました。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q.　どのような仕事をしていますか？

初めは二戸駅に配属され出札や改札など駅業務全般を学びました。その後当社関連事業のミニストップ一戸駅店へ異動し、接客の仕事に深く関わりました。当時は店長という立場でもあったため、人の上に立つことの難しさなども体験しました。その経験を生かし営業部で店舗の管理業務を経て、現在は総務部予算・経理グループとして、各部署から届く請求書の支払業務をメインに会社全体のお金の動きを管理しています。

Q.　現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

大好きな岩手県で働きたいという思いがあり、地元に絞って就職活動をしました。幼い頃から駅員の仕事に興味があったことと、大学時代に利用していたＩＧＲいわて銀河鉄道の駅員が素敵な方ばかりで一緒に働いてみたいと思ったことがきっかけとなり企業説明会に参加しました。そこで駅業務以外にも不動産業や観光業など、地域に寄り添った幅広い業務があることを知り入社を決意しました。

Q.　実際に入社して感じていることを教えてください。

総従業員数が300名程度の会社なので、社員一人一人をよく知ることができる点が魅力です。比較的若い社員が多く、若手でもやってみたいことなどの意見を提案しやすい環境です。上司や先輩も話しやすい雰囲気なので、のびのびと働くことができます。総合一般職はさまざまな部署に異動し経験を積むことができるので、自分の可能性を広げられるチャンスがあると感じています。

Q.　これからの目標を教えてください。

予算・経理グループに配属され2020年で2年目になります。まずは現在の仕事をきちんと身に着け、経理業務全般を理解することを目標としています。次は予算管理業務にも携わり、より会社のお金の動きについて理解を深めたいです。さらに他の部署へ異動となった際には、予算・経理グループで学んだことを生かし、経理の観点から物事を捉えた新しい提案を積極的に発信していきたいと思っています。

Q.　盛岡のいいところを教えてください。

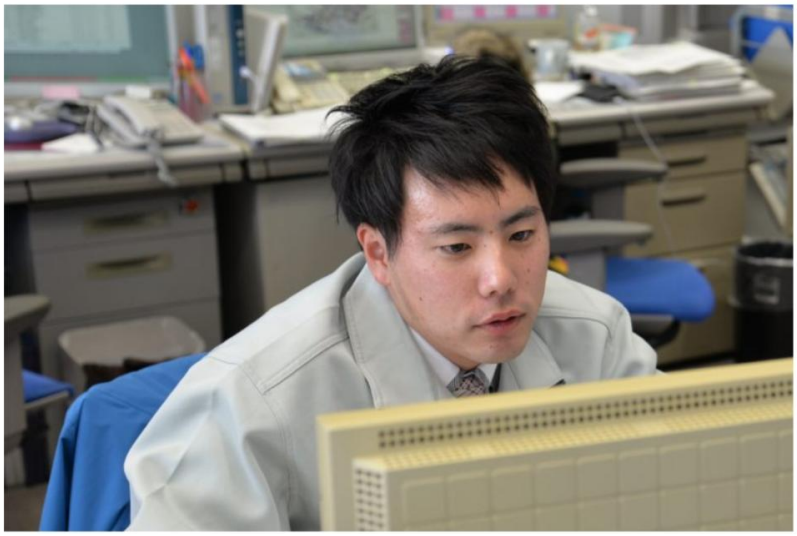
都会過ぎず田舎過ぎないところが盛岡の魅力だと思います。山や川もあり自然豊かだけど、東京まで2時間半程で行けてしまう交通の便の良さ…この塩梅が良いと感じます。盛岡の人はまったりしていて時間がゆったりと過ぎていくところも魅力の1つです。盛岡には数々の伝統文化が根付いており、盛岡さんさ踊りや盛岡舟っこ流しなど楽しいイベントが盛りだくさんなところがいいところだと思います。

インタビュアー：渡邉　美沙子
ーーーーーーーーーーーーーーーーーー-

ＩＧＲいわて銀河鉄道株式会社
〒020-0133　盛岡市青山2-2-8
URL　https://igr.jp

震災を機に、地元に貢献したいと思うように。大学で学んだ知識を活かし日々奮闘中。

岩手県土地改良事業団体連合会　高橋 颯さん



岩手の高校を卒業後、宇都宮大学に進学した高橋颯さん。大学を卒業した後は、大学で学んだ農業土木の知識を活かす仕事に就きたいと考え、現在、岩手県土地改良事業団体連合会で一人前の技術者になるべく日々努力をしています。
ーーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

採用後農村整備課に配属され、4年目となった現在は「ほ場整備」の調査計画や積算を担当しています。ほ場整備とは農家の皆さんが働きやすいように、田の区画拡大や道路、水路を整備することです。ほ場整備の調査計画においては地元の要望や自らのアイディアを交えながら水路や道路の配置設計を進めていきます。人のため、地域に貢献できるとてもやりがいのある仕事です。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

大学で学んだことを活かし、岩手で働きたいという思いがあり、現在の仕事につきました。岩手で働こうと思うようになった大きなきっかけは「東日本大震災」です。地震発生時、進学準備のため宇都宮にいました。そのため直接被災することはありませんでしたが、テレビのニュースで見た沿岸を襲った津波や地震の映像には衝撃を受けました。大学入学直後に宮城県の震災ボランティアに参加したことや、陸前高田市に直接赴き被害の甚大さを目の当たりにしました。これをきっかけに「自分が働くようになったら、岩手に貢献できる仕事がしたい」と思うようになり、現在の仕事に就いています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

採用後、農村整備課に配属されました。大学で農業土木の分野を学んできたものの実際に仕事をしてみると、農業施設や農業機械の名称に聞き覚えがある程度で、その目的や構造に知識がなく戸惑うこともありました。そのようなときは、現地に赴き自分の目で確認して理解を深め、業務に取り組んできました。現地調査をしていると地元の人からも話を伺う機会もあり、ほ場整備に対する思いや今後の農業への意欲などを聞くことができる良い機会だと感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入会して2年目の2016年、台風10号による災害査定です。災害査定では短期間で査定に向けた設計書を作成しなければならず、職員の多くが査定対応班となり、職員一丸で業務にあたりました。事務所では毎晩遅くまで作業し、国の災害査定の週は朝方までかかることもありました。非常に大変な時期ではありましたが。配属されて初めての課を超えて多くの人と仕事をした機会であり、多くのことを学べました。

Q. これからの目標を教えてください。

まだまだ先輩方や上司に助けられています。私の目標は自分が技術者として成長し、岩手県の農業の発展に貢献できるようになることです。近年農業土木に限らず様々な分野の技術者不足が課題となってきており、今後の技術者は一つの分野の専門家（スペシャリスト）ではなく、様々な分野に精通していること（ジェネラリスト）が求められています。将来自分がそのような技術者となって、岩手県土地改良事業団体連合会の目標である『農業農村整備のセーフティーネット』の一翼を担えるようにこれからも日々努力をしていきたいと思います。

インタビュアー：農村振興部　農村整備第二課　鈴木　理史
ーーーーーーーーーーーーーーーーーー-

岩手県土地改良事業団体連合会
〒020-0866　盛岡市本宮2-10-1
URL　http://www.iwatochi.com/

TYPE F

鉄道から始まるこれからのまちづくり
ＩＧＲいわて銀河鉄道株式会社　成島 英史さん



大学卒業後関東の鉄道会社で勤務していた成島さんは、地元である岩手に新たな鉄道会社ができると聞いてＩＧＲいわて銀河鉄道への転職を決意しました。鉄道業という地図に残る仕事を通して、沿線地域の方々に「ＩＧＲがあるおかげで便利になった」と少しでも思ってもらえる会社となることを目指して働いています。

ーーーーーーーーーーーーーーーー-
Q. どのような仕事をしていますか？

列車の運行にかかわる各現場のサポート、ダイヤ改正や運賃見直しなどの計画策定、企画乗車券やグッズの企画・販売といった幅広い役割を担う部署全体を見渡し、業務の管理を行っています。より良い仕事を実現するためには、担当者1人1人が自分なりの工夫を積み重ねることが何より必要だと感じます。「自分ならこの仕事をどうしたいか」を常に考え続けることができる職場の環境づくりを目指しています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

鉄道業を志した最も大きな理由は「まちづくりに携わりたい」ということでした。しかし東京では地域の規模が大きく、自分と地域とのつながりを見出すことが難しいと感じていました。地域を知りまちづくりに携われる場所を探す中でたどり着いたのが、故郷である岩手でした。地図に残り地域の人々の生活を豊かにできる鉄道業の力を生かしたまちづくりに携わり、自分が育った町をよりよくすることに挑戦したいと思い入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

新駅の開業やダイヤ改正など利便性の改善に携わる場面があり、地域をよりよくするために自分が挑戦したいと感じたことを実現できる機会が多くあると感じています。また仕事をきっかけとして沿線地域で活躍する方々と関わる場面が多くあり、様々なつながりが広がっていきます。九戸政実武将隊やもりおか交通まちづくりLRTフォーラムなどにも参加し、仕事でできたきっかけから職場だけでは得られない経験へとつながっています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

最も印象に残っているのは青山と巣子に新駅ができた時のことです。経営を引き継いだ当初は運賃が高くなったことで、地域住民からは不満の声が多く上がりました。しかしＩＧＲになったことで地域の願いだった新駅開業が実現した青山と巣子では多くの方に歓迎していただき、開業当日は来場者でホームがいっぱいになるほどでした。「ＩＧＲでよかった」と地域の方々に思ってもらえたと実感したのは、その時が初めてだったと思います。

Q. これからの目標を教えてください。

地域の方に「便利になった」と少しでも思ってもらえる会社を目指します。与えられた仕事であっても「自分ならどう工夫するか」の視点を持ち取り組むことで、仕事の中に見えてくる面白さは大きく変わります。また社員1人1人の工夫が反映されることは、お客様にとってより満足度が高いサービスの提供にもつながると思います。広い視野による工夫を重ねたサービスの提供を通して、よりよいまちづくりに貢献していきたいです。

インタビュアー：ＩＧＲいわて銀河鉄道株式会社　　松村　修平
ーーーーーーーーーーーーーーーー-

ＩＧＲいわて銀河鉄道株式会社
〒020-0133　盛岡市青山2-2-8
URL　https://igr.jp

TYPE F

技術は人を熱くする
オヤマダエンジニアリング株式会社　佐々木 康祐さん



盛岡市内の高校を卒業後、神奈川県の大学に進学した佐々木さん。大学では機械工学の応用について学び、機械設備工事の仕事をしたいと思い、現在の会社に就職しました。現在は様々な工場で施工管理を行っています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

工場、病院等の衛生、機械設備工事の現場管理を行っています。現場管理とは、原価、品質、安全、工程等、総合的な管理しています。一部上場企業の工場の工事を10年間常駐して行い、最近では空港、学校、病院等の工事に技術者として携わり、現在は後輩と一緒に食品工場などの現場の施工管理を行っています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

自分にあった仕事内容、社風かどうかは２０年たった今でもわかりません。目の前の仕事を納めていく中で、上司からの激励や、客先からの感謝の言葉を頂くうちにこの仕事の奥深さや、面白さに気づき今までやってきました。「誰かのためになる仕事」にやりがいを感じ、またそれを共感できる職場の仲間たちと一緒に仕事が出来る。多くの会社があるなかで、そう思わせてくれる会社、社員たちに出会えたことはありがたいことだと感じています。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

どれもこれもが印象に残っていることばかりですが、あえて、一つ挙げるとすれば、入社して間もない頃、寝坊をしてしまった事があります。現場の朝礼に間に合う時間に着くことは無理だと思い、また、当日の仕事内容を職人さんたちに指示することができないため、職人さんたちを遊ばせてしまうことになるとものすごく焦って、一緒に現場に行っていた先輩に電話で遅刻する旨を伝えました。自分の不注意で、現場の仕事を滞らせてしまうことになり、大変な事をしてしまったなと反省しながら謝罪したところ、こんなことを言われました。「俺も今起きたところ。」これが、今でも鮮明に印象に残っていることです。

Q. これからの目標を教えてください。

今までは、会社の目標を達成するために自分は何が出来るか、自分を成長させるためにはどうすれば良いのかを考え目標を定めてきました。これからは、若手の育成が自分の目標であり、自分の今まで培ったノウハウを伝え、若手社員と一緒に成長していく事が出来たら良いと考えています。失敗は若いうちに経験しておいた方が良いと思いますので、何事にもチャレンジさせていけるような環境を作っていきたいと思っています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

自分のやりたい事、好きな事を仕事に出来れば非常に良い事だと思います。とは言え、就職活動を行う時点で、はっきりと決まっている人はまれだと思います。どんな仕事であれ、まず、やってみなければ自分に合う、合わないは分からない事だと思います。自分の第一希望の業種に就職することが出来ないかもしれません。楽な仕事は一つも無いと思いますが、その中で「やりがい」や「楽しみ」を見つける事が出来ると思います。いろんな事に恐れずチャレンジすることが必要だと思います。その結果、後悔することもあるとは思いますが、まずは「やってみる」事が大切だと思いますので思い切って一歩踏み出せるように頑張って下さい。

インタビュアー：伊藤　翔太

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

オヤマダエンジニアリング株式会社
〒020-0015　盛岡市本町通3-18-8
URL　https://oyamada-eng.co.jp/

TYPE F

農業・農村整備の技術者として、農家の方が働きやすい環境をつくる
岩手県土地改良事業団体連合会　吉田 長貴さん



実家が農家だったこともあり、農家の役に立つ仕事をしたいと考えていた吉田さん。「農業土木」という分野があることを知り、農業土木について学ぶことができる大学に進学しました。その後、学んだ知識を岩手のために活かしたいと考え、現在の職場へ。農業・農村整備の技術者として働いています。
ーーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

田んぼの区画を大きくしたり、道路・水路の整備を行う「ほ場整備事業」を予定している地域の農家の実態を調査し、農家の皆さんが働きやすい環境となるような工事を計画しています。　工事をすることでどのくらいメリットがあるのか、工事費が農家の皆さんにとって負担できる範囲であるかを定量的に分析し、その工事の必要性、妥当性の判定を行っています。災害が起きた際には、実際に現地に出向き災害復旧計画を作成し、農家の方々が早期に営農ができるようにサポートをしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

実家が農家だったので、将来的には農家の役に立つ仕事をしたいと考えていました。大学では農業土木について学びました。就職の際に農業や測量に関わる仕事を探していたところ、知人から現在の職場で求人を出していることを教えてもらい、臨時職員として採用されることになりました。その後、転職して別の仕事につきましたが、臨職時代の上司から正職員を募集しているから受けてみないかと誘われ、あらためて試験を受けて、採用となりました。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

ほ場整備事業を予定している農地の現状を知るため、現地を調査している際に、地元の農家さんとお話しする機会があったのですが、その際に農作業を行う上での苦労話を聞くと共に、工事を待ち望んでいるので自分たちのために頑張ってほしいと言われたことが特に印象に残っています。現地調査の際に、農家の方々と関わる機会は多くはないのですが、農家さんから直接激励の言葉を頂けたことで、お話をした方を含めた農家の皆さんのために良い計画を立てていこうと思いました。

Q. これからの目標を教えてください。

今後もほ場整備の仕事に関する知識をもっと増やしていくことで、これからの日本の農業を担う農家の皆さんが更に働きやすい環境になるように、様々な視点から工事の計画を提案できるような技術者を目指していきたいと思っています。農地などの災害復旧の設計も仕事としているので近年数多く発生している災害に対しても、素早く適切な対応ができるように災害復旧に関する知識も習得していきたいと思っています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職をすると、楽しいことも時に苦しいこともあります。苦しいことを乗り越えるには目標や仕事に対する熱意が必要だと思います。自分がどのようなことに興味を持っていて、その分野にはどのような仕事があるかをよく調べ、就職説明会などで実際に働いている人からたくさん話を聞いて、熱意をもって働ける職場を探してほしいと思います。方向性を決めかねている人でも、様々な職種の情報を収集することで、それまで自分の考えになかった仕事に興味がわくこともあると思うので、積極的に情報収集をしてほしいと思います。

インタビュアー：総務管理部　総務課　千代川　淳人
ーーーーーーーーーーーーーーーーーー-

岩手県土地改良事業団体連合会
〒020-0866　盛岡市本宮2-10-1
URL　http://www.iwatochi.com/

TYPE F

岩手の農業を支える、一人前の技術者を目指して
岩手県土地改良事業団体連合会　榎本 利憲さん



県外の高専で建設分野を学び、卒業後は地元・岩手の大学で知識を深めた榎本さん。学生時代に学んだ建設関係の知識を活かせる仕事をしたいと、現在の職場に入会。田んぼや畑、農道、用排水路等の整備を行う「ほ場整備」のプロフェッショナルを目指して働いています。

ーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

「ほ場整備」の調査計画や工事費積算、他には「ため池ハザードマップ」の作成を担当しています。ほ場整備とは農家の皆さんが働きやすいように田んぼの区画を大きくしたり、農道・用排水路の整備をしたりすることです。ため池ハザードマップとは地震や大雨等によってため池が決壊してしまった場合のシミュレーションを行い、浸水想定区域や避難場所などの情報を表示した地図です。人のため、地域に貢献できるやりがいのある仕事です。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

穏やかな方が多い職場だと思います。特徴は上司が部下をちゃんと見ていることと意見を聞いてくれることです。上司から話しかけてくれることが多く、こちらからも話しかけやすいです。また、先輩が一から指導してくれるので、農業系の分野を学んでこなかった方でも仕事ができるようになります。さらに、研修に参加する機会も多いので、仕事をしながら学ぶことができます。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

積算業務です。積算は工事の歩掛（ぶがかり）に基づいて種別に構成する費用を積み上げ、全体の工事費を計算することです。この積算で算出した金額が工事の予定価格となります。少しのミスが相手方への迷惑や利益損失につながり、工事に大きな影響が出てしまいます。大変な仕事ですが同時にやりがいもあります。ある積算業務では先輩にチェックしてもらった際、一か所のミスで４００万円ほど変わると言われ、とても驚きました。

Q. これからの目標を教えてください。

早く一人前になり、たくさんの仕事を任せてもらえるよう成長していきたいです。そのためにも日々の業務を率先して取り組む他、業務にかかわる専門分野の資格試験にも積極的に挑戦し、知識を深めたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

一度は会社に足を運んでみてください。自分の目で見ることでインターネットや会社説明会ではわからない、その会社の雰囲気を知ることができます。特にインターンシップでは自分が行きたい会社の他に、違った業種・会社にも参加してみてください。幅広い業種や会社のインターンシップに参加することで他の選択肢ができますし、自分がなぜその業種・会社に興味を持っているか、どの仕事が向いているのか知ることができます。

インタビュアー：岩手県土地改良事業団体連合会　　東山　真理子
ーーーーーーーーーーーーーーーー-
岩手県土地改良事業団体連合会
〒020-0866　盛岡市本宮2-10-1
URL　http://www.iwatochi.com

TYPE F

パソコンに向かうだけではない、経理という仕事
公益社団法人岩手県農業公社　奥寺 渉さん



盛岡の高校を卒業後、北海道の大学に進学した奥寺さん。大学卒業と同時に盛岡の卸会社に就職。盛岡→仙台→札幌→東京→栃木と転勤に伴い、各部署を経験しキャリアを積んできました。18年間勤めた会社を辞め、2014年に公社に入社。以来、経理を担当しています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

日々の仕事としては入出金管理、月単位では、役員への収支見込み報告、年単位では、決算書と収支予算書の作成、公益法人の定期提出書類の作成、消費税、法人税等の申告になります。その他、運転資金の管理のため金融機関との打合せや、昨年からは、資産運用をすることとなったため、証券会社の方々から情報収集を行い、運用方法の提案を行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

若い頃は、どこに転勤しようと気にしていませんでしたが、結婚して家族ができてからは、転勤が無く、家族と一緒に暮らせる方が良いと考えるようになりました。栃木で営業をしているときに、得意先の広告に岩手産のお米や鶏肉が大きく掲載されているのを度々目にし、岩手の農作物が評価されていることを知りました。農業に興味を持ち始めたときに、岩手県農業公社の募集を知り、岩手の農業の役に立てたらと応募したところ、縁あって入社となりました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

公社は盛岡と花巻にありますので、転勤の心配が無くなったことが良かったです。農地の貸借事業に関わる募集とのことでしたが、配属されたのは経理課でした。内勤になりますので、農家の方々とのやり取りはありませんが、経理は数字のみ扱っていれば良いのではなく、会社の事業に精通していなければなりません。よって上司や各事業の担当職員から話を聞く機会が多く、コミュニケーションが必要な仕事だと感じました。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

2017年にシステムの変更を行いました。20年間使用していたシステムを変更することは大変でした。約半年前からの準備となり、4月の新年度開始から新システムの運用と旧システムでの前年度の決算を並行して行いました。前職で物流システムの開発と変更に携わった経験が役に立ち、課員一丸となって現行業務の見直しを行い、新システムに合わせることでトラブル無く運用することが出来ました。

Q. これからの目標を教えてください。

私の目標としては経理的知識の向上です。簿記に始まり、税務、会計、運用等まだまだ勉強しなくてはなりません。農業公社に勤めているのだから、農業について詳しくなることもスキルアップには不可欠と考えています。経理課としての目標は、課員全員が同じレベルで仕事ができるようになることです。経理は在宅勤務ができない職種ということで全国的に問題となっています。今の世の中、何が起こるか分からないので、業務が滞らないよう備えることが大事と考えます。

インタビュアー：深田　夕紀子

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

公益社団法人岩手県農業公社
〒020-0884　盛岡市神明町7-5
URL　https://www.i-agri.or.jp/

震災でインフラの重要性を実感。地域密着型の企業でお客さまからも信頼される社員へ。

盛岡ガス株式会社　塩脇 順平さん



北上市出身。北上の高校を卒業後岩手大学に進学し、岩手大学大学院を修了した塩脇さん。東日本大震災の経験によりインフラ業界に興味を持ち、就職活動では震災時にボランティア活動などを通して盛岡の人たちとの関わりが増えたことや人のために活動することの喜びを感じそんな仕事のできる盛岡ガスに入社しました。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

営業部お客さまサービス課に所属しお客さまの器具の点検や修理の手配、担当企業の宿舎の点検、安全装置の搭載されていない器具の買い替え促進などを行っています。お客さまが安全に安心してガス機器を使用していただけるように誠実な対応を心がけております。わからないことや今の自分には難しいと思うような場合がまだまだ多くありますが、先輩方の協力のもと様々な仕事を教えていただき一人前になれるように精進しています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

東日本大震災を経験しインフラ業界の重要性を感じたことがこの業界で働きたいと考えたきっかけです。特に震災時は岩手大学の学生で、盛岡に住んでいたこともあり盛岡の地域の人々に貢献できる仕事をしたいと感じました。その中でも盛岡ガスは89年（1930年設立）という長い歴史があり、盛岡市とともに成長してきた会社です。地域密着企業であり、地域の人々を近くに感じながら働ける会社だと思い盛岡ガスで働きたいと思いました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

職場の雰囲気は、わからないことや教えてほしいことがあるときに周りの先輩に聞きやすい環境だと思います。また、会社としてもジョブローテーションの採用や社会人としての基本的な講習会や研修会だけでなく専門的な講習も積極的に若手社員に経験させてくれる会社であり、若手の教育に力をいれ、少しでも早く一人前になれるように環境を整えてくれていると感じました。期待に応えられるように努力しようと思える職場だと思います。

Q. これからの目標を教えてください。

目標は、お客さまからも会社の人からも信頼して仕事を任せてもらえるようになることです。私は、2016年に入社し、今の部署に異動してから1年が経ちました。まだまだわからないことも多くあり勉強の毎日ですが一人前の社員として見てもらえるように努力を積み重ねていきたいです。また、後輩がどんどん増えてくる中で仕事を覚えるだけでなく後輩に指導できるように理解を深めたいです。そのほかにも、仕事の幅を広げるためにも資格の取得にも励みたいと思います。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動は時間や労力がかかってしまい大変かと思います。インターネットでの情報収集だけでなく説明会や先輩訪問など様々な方法で正しい情報を手に入れる努力をしてください。入社して思っていたのと違うと感じたり他にもいい会社があったなと思ってしまったりと仕事をしていく上でモチベーションも下がってしまうと思います。自分が納得できるまで調べ就職活動をやりきれるよう頑張ってください。困ったらジョブカフェなどの支援機関の人たちに協力してもらうのもいいと思いますよ。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

盛岡ガス株式会社
〒020-0066　盛岡市上田2-19-56
URL　https://www.morioka-gas.co.jp/

TYPE F

大学で学んだ知識を活かして地元に貢献！
岩手県土地改良事業団体連合会　伊東 一成さん



県南の高校を卒業後、県外の大学に進学した伊東さん。大学で学んだ農業土木の知識を活かす仕事に就きたいと考え、地元・岩手県で就職活動を行ないました。縁あって現在の職場に就職し、一人前の技術者を目指して働いています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？
効率的な農作業に必要な水田や畑の区画の拡大や、農業用水の管理を簡単にするために必要な農業用水路などの整備を行う「ほ場整備」の事業計画の作成を担当しています。また、雨水を水田に一時的に貯めて下流の洪水被害を軽減することが期待されている田んぼダムの効果検証なども担当しています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。
大学で学んだ農業土木に関する知識を活かし、ほ場整備に携わりたいと考えて、就職活動を始めました。もともと、地元である岩手県で働きたいという思いがあり、実際に現場に行って調査をし、自分の手でほ場整備の事業計画を作ることができるところに惹かれて現在の職場に就職しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。
雰囲気が良い職場だと思います。話しかけるとフレンドリーに接してくれるため、馴染みやすいです。繁忙期を除けば時間にゆとりがあるので、スキルアップに向けて、資格を取るための勉強時間を十分に確保できるところが魅力的です。また、転勤がなく岩手に根差した仕事内容であるため、地元に貢献していると感じられ、やりがいがあります。

Q. これからの目標を教えてください。
現在の課に配属されて今年で３年目になります。まだまだ学ぶことはたくさんありますが、新人教育プログラムも終えて、これからは、責任感を持った技術者として更に成長していきたいと考えています。ほ場整備は農家の方々の要望を反映させる必要があるため、十分に時間をかけて事業計画を作り上げ、計画的に仕事を進めていくことを目標にしています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。
就職活動は、時間に余裕を持てるようにできるだけ早めに始めると良いと思います。うまくいかずに焦ってしまうこともあると思いますが、じっくりと自分の行きたいところを決めてください。また、インターネットの情報に頼りきりにならず、インターンシップや職場見学などで、実際に自分の目で会社を見て判断することが大切だと思います。

インタビュアー：岩手県土地改良事業団体連合会　　嶋村　萌花

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

z岩手県土地改良事業団体連合会
〒020-0866　盛岡市本宮2-10-1
URL　http://www.iwatochi.com

TYPE F

ガスのプロとして、“当たり前”を支える。社員の仲の良さも会社の魅

盛岡ガス株式会社　枇杷 和貴さん



久慈市出身の枇杷さん。東日本大震災を経験しインフラの大切さに気付いたことがきっかけとなり、盛岡市内の大学を卒業後盛岡ガスへ入社しました。営業部を経て現在は工事部本管工事課に所属し、ガス導管工事の現場管理を担当しています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

ガス管を埋設する仕事をしています。道路にガス管を埋めるために必要な情報を収集し、ガス管の口径や工事の手順の作成、工事にかかる費用を算出します。また、工事を行う際は関係各所に届出が必要になるため、その申請などをしています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

入社したきっかけは、東日本大震災を経験したことです。地震後数日は、停電が続き不便な体験をしました。その体験から、当たり前だと思っていた電気や水道、ガスなどのインフラの大切さに気づき、それに関わる仕事をしたいと感じました。また、大学生活を盛岡で過ごして盛岡の街に魅力を感じ、盛岡のために仕事をしたいと思い盛岡ガスに就職しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

盛岡ガスの魅力は個性豊かな人で溢れていることです。それぞれでいろいろな考え方があり、仕事以外でも学ぶことが多いと感じています。また、社員旅行やボウリング大会など年齢問わず交流の場があるため、仲の良い職場です。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

入社して間もないころ引越しのガスの立会いに行きました。初めてで緊張してしまいお客さまに拙い説明をしてしまいました。お客さまはガスのことなので不安になり、再度説明を求められた私はその期待に答えられず、先輩に助けていただきました。私は初めてだったがお客さまから見れば盛岡ガスの社員はガスのプロです。お客さまの立場になるということに気づき、盛岡ガス社員としての自覚と責任を感じたことが印象に残っていますし、今後もこの気持ちを大切にしたいと思いました。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動は自分と向き合う貴重な時間だと思います。自分が何をしたいのか、何を目標にするのか、たくさん悩める時間です。身近な社会人の話を聞いたり、いろいろな会社の説明を聞いたり選択肢を増やして自分を活かせる場を見つけられるような就職活動にしてください。

インタビュアー：工事部　施工監理課　佐藤　孝亮

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

盛岡ガス株式会社
〒020-0066　盛岡市上田2-19-56
URL　https://www.morioka-gas.co.jp/

TYPE f

岩手県の農業振興に向けて、緑の下で日々奮闘！
公益社団法人岩手県農業公社　良田 裕徳さん



福島県の高校を卒業後、岩手県内の大学に進学した良田さん。大学では農地の基礎となる土壌物理学など農業の生産基盤に関わる農業土木について学びました。卒業後は、農用地の整備を全国規模で実施していた法人での勤務を経て、岩手県農業公社に入社。県内の農業振興のため日々奮闘しています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

基盤整備部に所属後、令和元年度から農地中間管理部農地集積課長として、農地集積80%に向けて農地の貸借、売買に係る事務の総括のかたわら、担当地区の農地貸借事務を行っています。具体的には、高齢などの理由で耕作が難しくなった農地所有者の方から、農地を公社で一度借り入れ、地域の担い手に貸し出す、農地の不動産屋のような仕事をしています。貸借事務を円滑に進めるため、農地のある市町村役場の担当の方や農業委員会の担当の方と連携を取って業務を行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

前勤務先の都合により転職が必要となり情報を集めていたところ、岩手県農業公社での求人情報を耳にしました。前職場での農用地整備に関する工事等の発注や監督業務の経験を生かした仕事を通じて、岩手県の農業に貢献したいとの思いで、公社の門をたたきました。また、今までは全国を転勤する生活で、いずれは生活の基盤をどこかに築かなければと思っていました。公社への入社により、学生時代を過ごした思い入れのある盛岡で、この二つの思いを同時に実現できました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

公社に入社して早10年目。令和元年度は基盤整備を行う部署から農地貸借に従事する部署への異動も経験しました。公社でこれまで経験した基盤整備事業や現在の農地中間管理事業での業務を通じて、農業者のために貢献できるやりがいのある仕事だと日々実感しています。また、近年は公社としてイクボス宣言や福利厚生の見直しを行うなど、働き方改革にも力を入れていて、多忙な業務の中においてもワーク・ライフ・バランスをうまく実現している職員が多いと感じます。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

基盤整備部での暗渠排水工事（農地の水はけを改善する工事）の現場代理人業務が印象深いです。春の農作業が始まるGW直前が納期でしたが、この時期は雨が多く、仕上げ作業が中断することもあったため工程管理には苦労しました。また、安全施工が第一であり、無事故無災害で竣工させることにも神経を使い、気が休まる時があまりなかったように思います。ですが、工事後、農家の方から「工事をしてもらってよかった」との声をいただいたときには、苦労が「やりがい」に切り替わりました。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

私が就職したころと比べ、昨今の学生はインターネットの普及により企業情報を収集する能力が高く、自分の理想に近い企業の選択肢も増えているのではないかと思います。一方で就職前の情報が多い分、いざ働き始めたら「思い描いていた仕事とちょっと違う」と感じることもあるかもしれません。是非、受験前には就職説明会で企業担当者と話したり、職場訪問で職場の雰囲気を感じたりして、自分で納得できる企業を選択してください。

インタビュアー：齊藤　幸四郎

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

公益社団法人岩手県農業公社
〒020-0884　盛岡市神明町7-5
URL　https://www.i-agri.or.jp/

TYPE F

知識や経験を活かし、さまざまな分野に貢献
オヤマダエンジニアリング株式会社　高橋　勝根さん



県内の公立高校を卒業後、市内の専門学校へ進学。その後、現在の会社に就職し営業部門で3年、メンテナンスを行うサービス課で15年従事。現在はポンプ設備全般の維持管理及びメンテナンスを担当しています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

農事用ポンプ設備のメンテナンスおよび整備を行っています。主に県内数十か所の揚水機場で春と秋の点検、農事期間内および冬期間の各機器の整備、修理対応などを行っております。また、東北管内のバイオマス発電所等のポンプ整備、民間工場におけるポンプ整備等を行い、農業関連事業や給排水等のインフラやバイオマス発電所等の電力の安定供給に貢献しています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

弊社は管工事の完成工事高が県内上位の企業となっております。しかしながら、県内上位であるということに満足せず、さらなる上位を目指すことができるものと自負しております。また、県内だけでなく東北管内においても完成工事高を今以上に上げていきたいと考えており、そのためには県外業者と競うことができる知識や技術、ネットワーク等を強化することで、さらなる高みを目指すことが重要だと思っています。

Q. これからの目標を教えてください。

弊社は、県内では「知る人ぞ知る会社」であると感じております。当面の目標としては「知る人ぞ知る会社」ではなく、「皆が知っている会社」になっていくことです。そのため、今後は仕事の幅を県外まで展開し、東北管内でも名が通った会社になるように頑張っていきたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

自分の趣味を仕事にできることが理想です。しかし趣味を仕事にできる人は多くはないと思います。そのため与えられた仕事の中で興味を持つことができれば、仕事に対する意欲が自然と生まれ、長続きさせることができると思います。また、社会人のマナーや知識を知ることは重要ですが、社会人になってから多くのことを学んでも遅くはないと思います。今は残り少ない学生生活を大事にしながら、自分がこれから何をやってみたいのかを明確にすることを心掛けてほしいです。

Q. 盛岡のいいところを教えてください。

盛岡は青森、秋田、仙台まで車での移動時間が約2時間内であり、北東北の中心地だと思います。仕事をするにもプライベートで旅行やレジャーを楽しむ際にも便利な場所だと感じています。

インタビュアー：オヤマダエンジニアリング株式会社　　黒澤　大輝

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

オヤマダエンジニアリング株式会社
〒020-0015　盛岡市本町通3-18-8
URL　https://oyamada-eng.co.jp/

TYPE F

部署異動後も充実のＯＪＴや研修で独り立ちを目指す！
岩手県土地改良事業団体連合会　佐々木 暢さん



高校では、電子情報を学んでいた佐々木さん。授業ではプログラミングを勉強、課外活動でロボコンに出場し、コントローラーの配線づくりや、アルミ材の切り出しを手作業で0.05mmの精度にするなど、技術を磨いていきました。高校を卒業後地元である盛岡で就職をし、現在の会社で働き今年で６年目となりました。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

私は先輩ではありますが、今年新しく部署が変更になったので1年目とほぼ同じです。今は事業の費用などを計算する積算や、県から受注した農地をまとめて広くするという、「ほ場整備」に関する業務を行っています。また、去年までの業務は施設の保全対策や診断を行っており、水路などのコンクリートにひびが入っていないか、ポンプなどの機械の調子はどうか電流を測ったり、異臭がしていないかの保守点検をしたりしていました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

職場は、課ごとに雰囲気が違います。にぎやかな課もあれば、物静かな課もあります。特徴は上司などの上の方が部下をちゃんとみています。上司から話しかけてくれることが多いため、こちらからも話をしに行きやすいです。農業土木などの勉強をしてこなかった分野でも、先輩が一から教えてくれますし、研修に行く機会も多いので、違う分野を勉強してきた方でも仕事ができるようになります。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

2016年度の台風10号の災害査定が印象に残っています。とても忙しく大変ではありましたが、課を超えて、一丸となって対応したので、今まで話したことがない人とも関係を持つことができました。失敗は、作業進捗の費用計算で想定よりも人件費にかかる金額が少なくなってしまったことです。このことがあってから、支出の計画を細かく見直すようにして、ミスを減らしていきました。

Q. これからの目標を教えてください。

これからの目標は、新しい課に来たばかりなので、早く課の雰囲気に慣れ、自分から仕事ができるようにしていきたいです。そのために仕事を覚え、CADなどの今まであまり使わなかったソフトの操作をできるようにしたいです。今までやってきた業務に関連して、第三種電気主任者の資格も取得したいです。以上のことを行い、独り立ちができるようにしていきます。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

会社に一度足を運ぶことは大事です。一度会社を自分の目で見ることで、パンフレットやホームページ上ではわからない、その会社の雰囲気を知ることができます。そこで自分に合うか合わないかを判断することができますし、どんな人がいるのかもみることができます。履歴書だけでは、良い就職活動は難しいです。ぜひ会社を見学し、情報をより多く得るように心がけてください。

インタビュアー：農村振興部　農村整備第二課　伊東　一成

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

岩手県土地改良事業団体連合会
〒020-0866　盛岡市本宮2-10-1
URL　http://www.iwatochi.com/

地元に根付いた活動で盛岡に恩返しを
エクナ株式会社　佐々木　匠さん



盛岡の高校を卒業後、市内の専門学校で2年間勉強を積んだ佐々木匠さん。長年暮らしてきた経験から、盛岡市に貢献したいという思いもあり、地域に根付いた企業を積極的に調べていきました。縁あって現在の会社に入社し、営業職として、お客様の課題解決や業務改善の力添えができるように、日々働いています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

私はソリューション営業部に所属しており、営業の仕事を行っております。具体的には、お客様の元を回り、法律改正など様々な情報提供や現在お困りの点の聞き取りを通し、お客様の課題解決や業務の改善につなげていく仕事をしています。また、営業のみならず、お客様と弊社の技術部門の担当者のパイプ役として連絡を行うことや、小さなトラブルの解決なども行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

就職活動の最中に、現在の会社の企業説明会やWebサイトを見て、地元に拠点を置き、県内全域のお客様に対して、事務機器やシステムを提供していることを知りました。地元の企業との取引も多く、地域に根差した活動をしていることや、常にお客様のためにという部分を特に大事にしているということも分かり、この会社であれば、仕事を通じて盛岡市に貢献することができると考え、現在の会社に入社しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

私が入社して感じていることは、お客様とのコミュニケーションの大切さです。なぜなら、普段、営業活動をしているとお客様と話すことが多く、その会話の中からお客様の課題を聴き、その課題の解決に向けた提案をしていく必要があるからです。また、自社のお客様が沢山居るということもあり、１回１回の面会の時間が短くなってしまうことがあるので、その短い時間でも確実にお客様のニーズを聞き取って次回の面会の約束へとつなげることが必要となるので、特に重要だと感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

これまでの仕事の中で特に印象に残っていることは、新人の頃に飛び込み営業を行って、初めて契約を頂いたことです。飛び込み営業では挨拶をしただけで断られるということも多く、そのお客様にも最初は断られてしまいました。しかし、何度も訪問をして話を伺い、お客様の状況や現在の悩みなどを聞き取ることができ、最終的にはそれを解決できる提案をし、契約を結ぶことができました。納品が完了して、コピー機を使っていただいている中で、「とても使いやすい、君にお願いして良かった。」という言葉を頂いたことがとても嬉しく、強く印象に残っています。

Q. これからの目標を教えてください。

これからの目標は、忙しいということを言い訳にせず、１つ１つの仕事をしっかり行うことと、後輩の手本となれるようにする、ということです。入社して５年目になり、仕事の量も増えてきて、丁寧さだけではなくスピードも求められるようになってきました。また、後輩も増えてきて、自分が教える側になったので、今まで以上に仕事の効率や優先度などを考えながら動かなければならないと感じています。

インタビュアー：エクナ株式会社　　高橋　蓮

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

株式会社エクナ株式会社
〒020-0122　盛岡市みたけ3-18-33
URL　https://www.echna.co.jp/

インタビュー一覧

TYPE f

県庁への派遣を経験。技術者としてさらなる高みへ。
岩手県土地改良事業団体連合会　山本 優子さん



盛岡市出身の山本さんは、高校時代の先生の言葉で農業に興味を持ち、秋田県で農業土木について学びました。その後、盛岡市に戻り、民間企業での勤務を経て、岩手県土地改良事業団体連合会の職員に。日々の多様な業務に加え、県庁への派遣など、多くの経験を積んで着実にステップアップしています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

農村整備第一課に所属し主に、ほ場整備事業の業務をしています。具体的には、農家の方々が働きやすくなるように、田んぼを大きく整え、それに合わせた農道・水路の整備の計画を立てています。ほかには、豪雨などでため池が氾濫した際の、被害想定範囲や避難情報を掲載した地図(ハザードマップ)の作成や、災害発生現場での、ドローンを使った現地調査といった仕事に携わっています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

高校時代、先生に「これからは農業の時代」と言われたことがきっかけで農業に興味を持ち、秋田県の農業短大に進学し、農業土木について学びました。卒業後は、民間の測量会社に入社しましたが、転職し一旦は別の業種の仕事をしていました。その後、測量会社時代のCAD(パソコンを用いた図面作成ソフト)作業の経験を生かせる仕事をしたいと思い、現在の職場に入会しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

私たちがおこなっている「ほ場整備事業」は、効率よく作業ができるように田んぼを整えるなど、農家さんが働きやすい環境をつくる仕事です。そのために、ただ田んぼを大きくするのではなく、農家さんの意向を反映させたり、環境への配慮などを総合的に考えたりする必要があり、その点が難しく、責任ある仕事だと感じています。これからさらに経験を積み、農家さんが働きやすい、魅力ある農村空間を計画できるように、力をつけていきたいと思います。

Q. これまでで仕事で印象に残っていることを教えてください。

2019年度まで自治体応援派遣職員として、県庁でさまざまな業務に携わってきました。主に、東日本大震災の津波で被災した、農地の復旧・復興の状況を取りまとめ、広く内外に情報発信する仕事に従事しました。この仕事を通して、岩手県や他県の震災からの農地の復旧・復興の取り組み状況を知ることができ、大変勉強になりました。この応援派遣職員としての経験を、今後に生かしていきたいと考えています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動中は、壁にぶつかったり、悩んだりすることもあると思いますが、そのようなときは１人で抱え込まないことが大切です。担任の先生や、家族、友達に悩んでいることを相談して、アドバイスをもらうことで、自分のやりたいことや、就職活動の方向性が明確になると思います。面接は緊張する場面ですが、その中でも笑顔を忘れず、明るくはきはき受け答えすることを意識すれば、面接官の印象も上がり、合格に近づくと思います。

インタビュアー：森　龍太郎

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

岩手県土地改良事業団体連合会
〒020-0866　盛岡市本宮2-10-1
URL　http://www.iwatochi.com

TYPE f

岩手で働く人を支えたい
岩手県土地改良事業団体連合会　藤井 さくらさん



岩手県内の高校を卒業後、県内の大学に入学した藤井さん。大学では森林科学を専攻し、そこで学んだ労働災害に特に興味を持ちました。将来は「岩手のために働きたい、そして岩手で働く人々の労働環境を整えるために働きたい」と考え、県内で就職活動を進め、当連合会に就職しました。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-
Q. どのような仕事をしていますか？

総務管理部総務課に所属しており、主に福利厚生に関する仕事、給与計算、関係団体への情報発信等を行っています。福利厚生に関する仕事では、健康診断の申し込みと結果の取りまとめ、入会等の手続き、ストレスチェックアンケートの配布と結果の取りまとめ等を行っています。給与計算では、残業時間の集計、各種手当・社会保険料に係る標準報酬月額の算定等を行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

地元花巻市に土地改良区があり、そこで知人が働いていたため、幼い頃から当会関係団体になじみがありました。また、祖父母が米農家を営んでいたため、その手伝いを通して、ほ場整備前の田んぼでの作業の大変さを体感してきました。将来は大学で学んだ労働災害についての知識を生かし、岩手の農家の方々の働く環境をよりよくしたいと思うようになりました。そこで、岩手の農家の方々や土地改良区に対して、様々なサポートを行っている当連合会に入会しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入会１年目の時、ほ場整備後の田んぼを持つ農家さんのところへお邪魔し、田植え体験をさせていただく機会がありました。そこで農家さんから「ほ場整備のおかげで大型機械による田植えが可能になったり、高台で水が届きにくかった水田にも行き渡るようになったりして大変助かっている。」といったお話を聞いて、当連合会で行っているほ場整備事業が、農家の方々の役に立っていると改めて実感することができ、仕事にやりがいを感じました。

Q. これからの目標を教えてください。

まずは現在の仕事について知識等を深め、着実に対応できるようになりたいと考えています。また、健康診断結果やストレスチェック結果の有効活用、職場環境の改善や職員の健康増進のため開催される衛生委員会を通して、職員の方々がより健康な状態でお仕事に集中できる職場にしていきたいです。明確な内容を思い浮かべられていませんが、話をしたり説明したりということも好きなので、関係団体の方々と関わる業務にも挑戦してみたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

自己分析することが大切だと思います。得意なことや苦手なこと等を理解した上で就活をすると、自分に合った仕事に就くことのできる可能性が高まると思います。苦手な仕事を続けたり、働いてみてから思っていたのと違うなと感じたりしてしまうと辛いですよね。また、自分のことを知ると将来の目標や頑張りたいことがはっきりし、仕事に取り組みやすくなります。そして、じっくり自分と向き合うためにも、早めに自己分析を始めてみることをお勧めします。

インタビュアー：岩手県土地改良事業団体連合会　　山下　知佳

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

岩手県土地改良事業団体連合会
〒020-0866　盛岡市本宮2-10-1
URL　https://www.iwatochi.com/

MORIOKA
シゴトカメラ

メッセージ

TYPE F

地元岩手に戻り、得意分野を活かして職場に貢献！！
岩手県土地改良事業団体連合会　千代川 淳人さん



県南の高校を卒業し、県外の大学に進学した千代川さん。社会のルールである法律を学ぶことで、社会人になった際に学んだ知識が様々な問題を解決するのに役立つのではないかと考え、大学では法学を学びました。県外の大学に進学した際に地元岩手の良さを再確認し、将来就職する際は学んだ知識を活かして岩手の力になりたいと考えました。そういった思いから岩手県で就職活動を行い、現在の職場に入会しました。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

主な業務としては、会の定款・規約・規程改正の事務をはじめ、会で利用する車両や事務所建物の管理、物品・備品の購入、HPの編集・更新作業など様々な業務を行っております。総務課であるため、日常的に多岐にわたる業務があり、全てを伝えるのは難しいですが、職員の方々が安心して業務を行えるようにサポートするため、日々業務に取り組んでおります。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

県外の大学に進学し、法律を学んでいました。岩手県を離れたことで、岩手のゆったりとした時間の流れが自分に合っていることに気が付き、大学卒業後は地元岩手で就職をしたいと考えました。就職活動を行っていた際、今の職場で法務部門での採用を行っていることを知りました。学んだ知識を岩手の為に活かせると考え、試験を受けたところ、縁あって採用となりました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入会当時は何も知識が無く、不安でしたが、上司の方々や先輩が業務について一から丁寧に教えてくれるので、安心して業務を行っていくことができます。業務以外のことでも、上司の方々が気軽に話しかけてきてくれるので、風通しの良い職場であると感じています。また、入会後は新人教育研修等も数多くあり、個人的なスキルアップの機会も数多く設けられているのも特徴の一つです。

Q. これからの目標を教えてください。

総務課に配属されて４年目になりますが、仕事ではまだ上司や先輩の方々にサポートして頂きながら業務を行っております。今後は独り立ちできるよう知識と経験を積みながら、職員の方々が働きやすい環境を作っていくために様々な業務に取り組んでいきたいと考えております。また、現在は事務所内での業務が多いですが、現場に出て行う測量等の業務にも対応できるようになりたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

私が就活を始めた時には、自分がどのような職業につきたいのかというビジョンが曖昧な所からスタートしていましたが、今現在どんな職業につきたいかが明確でない人こそ、まず様々な職種の情報を収集することで、自分の考えになかった仕事に興味がわくこともあると思うので、企業説明会等に積極的に参加し、情報収集をしてほしいと思います。また、面接については元気な印象をつけるべく、「大きな声で元気よくはきはきと」を意識して行うこと、そしてとにかく練習することがポイントかなと思います。応援しています！

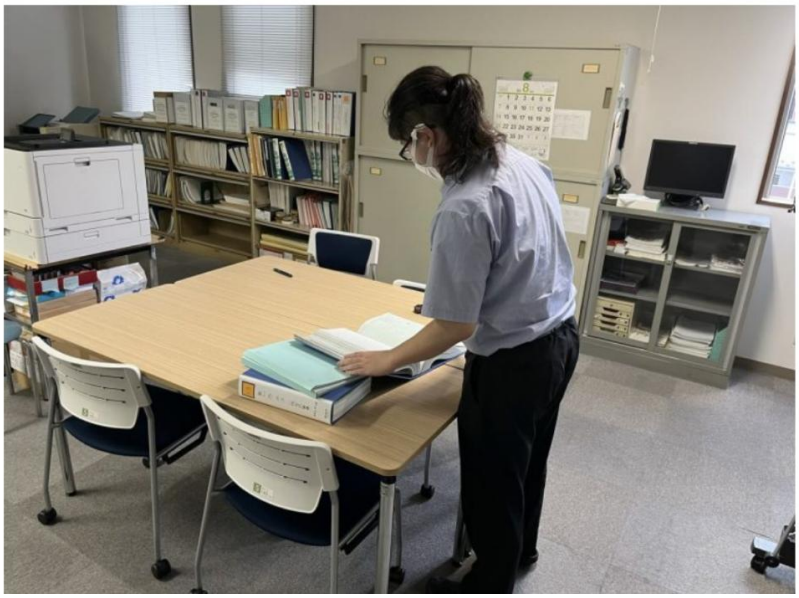
インタビュアー：岩手県土地改良事業団体連合会　　藤井　さくら

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

岩手県土地改良事業団体連合会
〒020-0866　盛岡市本宮2-10-1
URL　http://www.iwatochi.com

TYPE f

明日の農業のために。縁の下で日々奮闘！
公益社団法人岩手県農業公社　齊藤 幸四郎さん



盛岡の高校を卒業後、岩手県内の大学に進学した齊藤さん。もともと植物に深い関心があったので、大学では植物の生態系について研究していました。幼少のころから農業に触れて育ち、大学時代も農業に携わる活動をしており、卒業後は農業関係の仕事に従事したいと思い、公社に入社しました。

ーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

入社後、農地中間管理部に所属し、国の掲げる担い手の農地集積80%に向けて担当地区の農地貸借事務を行っています。具体的には、高齢や後継者不在などの理由で耕作が難しくなった農地所有者の方から、農地を公社で一度借り入れ、地域の担い手に貸し出す、農地の不動産屋のような仕事をしています。円滑な貸借事務を行うため、市町村や農業委員会と連携を取って業務を行っています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

農業が身近にある環境で育ち、大学のころに農家さんのところで宿泊をしながら農作業を体験する農林ワーキングホリデーという活動に参加しました。そこでは農業現場の実情に触れ、農業の重要性を再確認するとともに、大変さを感じました。こういった経験があったため、卒業後は農業を支えたいという思いが強くあり、その中で公社の新規就農支援事業や農地中間管理事業に感銘を受け、入社するきっかけになりました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

担当している仕事では農家さんとお話をすることが多く、入社したころは専門的な内容について理解することが大変でした。職場ではベテランの方が多く、農業現場について詳しく知っているので、困ったときはサポートをしてもらいながら業務を行っております。この仕事をさせていただいて今年で3年目になりますが、人と接することが多く、コミュニケーションが非常に大切な仕事であると感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

担当する市町村に出向いた際に、農地を耕作されている法人さんからのお話が印象に残っています。所有者の方から農地を引き受けてほしいとお話があると、多くの法人では断らずに受けていただくので、その地域では重要な役割を担っています。そういった方々が農業の将来に向けて活動されていることに感銘を受けるとともに、農業全体の仕組みが変わっていかないと、このような法人もなくなってしまうのではないかという危機感も感じています。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就活生のころは大学や企業が開催していた説明会に積極的に参加し、どんな企業があるのか、何をする企業なのかを知るために努力していました。こういったことは仕事を選んでいく中で選択肢を増やしていくことにもつながるので、このような機会は是非とも活用してほしいです。また、私は仕事をするうえでワークライフバランスが整った仕事に就きたいと思い、就活をしていました。自分が働くうえで何を大切にするかを明確にすることで、良い就活にすることができると思います。

インタビュアー：公益社団法人岩手県農業公社　　熊谷　祥太
ーーーーーーーーーーーーーーーー-
公益社団法人岩手県農業公社
〒020-0884　盛岡市神明町7-5
URL　https://www.i-agri.or.jp/

会社情報

TYPE F

酪農家の未来のため、営農支援が不可欠!!
公益社団法人岩手県農業公社　國分 浩章さん



高校では、農業土木を学び、地元の建設会社に就職し幅広い分野の工事を経験しながら日々奮闘し働いてきました。その経験を活かし、夏場は営農支援業務、冬場は暗渠排水工事の現場代理人として頑張っています。ラグビーで培った諦めない気持ちで、どんな仕事にもチャレンジしています。現在の会社では、酪農家を支えるための営農支援業務に携わり、農業の明るい未来のため、慣れない大型農業機械のオペレーターとして働いています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

春から秋にかけては、乳牛用飼料の牧草とデントコーンの収穫作業に携わり、主に、県内でも数台しかない大型農業機械の自走式ハーベスタのオペレーターとして県内を走り回っています。冬場は、田んぼの排水を良くするための暗渠排水工事の現場代理人として施工管理の業務に携わっています。安全第一で、地域の方々と協力しながら、品質の良い暗渠を提供できるよう努めています。どちらの業務も、農家さんを一番に考えて日々働いています。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

縁あって現在の会社に入社することになったのですが、一般の企業では絶対に経験できない業務があり、その中でも、営農支援業務は初めて聞く業務でした。不安もありましたが、やらずして諦めるのではなく、自分の成長のため挑戦しようと思い入社を決断しました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

実際に入社して、見たことも聞いたこともない事だらけで、日々勉強でした。聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥と思い、会社の同僚や、時には農家さんとのコミュニケーション図りながら、その会話の中からヒントを頂き勉強をしています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

牧草収穫では、天候不順に悩まされ、収穫適期に作業ができなかったことがありました。デントコーン収穫では、台風により、倒伏の被害を受け収穫作業が思うように進まず、農家さんに迷惑をお掛けしてしまいました。更には、目標とする品質を得られなかったことなど、農家さんの希望に添えなかったことが一番辛く苦しい出来事でした。その為にも、向上心を忘れないようにします。

Q. これからの目標を教えてください。

営農支援業務は、全てが生き物と関わりがあり、天候に左右される為、その場その場での状況判断が大切です。牧草では、収穫時期が限られている為、牧草の生育状況の確認や天候の変化の情報などを、常に収集するように努めています。デントコーン収穫では、牧草収穫と同様ですが、農家さんとの日程調整など、より良い品質を提供できるよう工夫をしていきたいです。去年は、このやり方でよかったから今年も同じで良いのではなく、品質向上と農家さんの未来のため、日々努力と新しいことに挑戦する気持ちを大切にしていきたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職してからの目標も大切ですが、就活ではどんなことにも興味を持って、臆することなくトライしてほしいです。就職後は先輩のしていることに「何で？　どうして?」と、興味を持って仕事をして下さい。

インタビュアー：公益社団法人岩手県農業公社　　菊池　琉都・小松　生吹
ーーーーーーーーーーーーーーーーー-
公益社団法人岩手県農業公社
〒020-0884　盛岡市神明町7-5
URL　https://www.i-agri.or.jp/

TYPE F

家族的な雰囲気の職場で一人前のガスマンを目指す！
盛岡ガス株式会社　村上 怜さん



盛岡の高校を卒業後、大学に進学した村上さん。大学卒業後は、仙台で勤務していましたが、30代になり地元・盛岡に戻ることを決意。縁あって現在の会社に入社し、一人前のガスマンになるべく業務に取り組んでいます。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

リフォーム課・機器販売係に所属し、一般のお客さまへのガス器具の販売を行っています。日々、お客さまのお宅を訪問し、器具の提案・見積・販売・取付までを担当します。具体的にはビルトインコンロ・給湯器・湯沸器などの器具を販売します。

Q. 現在の会社に入社したきっかけを教えてください。

30代になり地元・盛岡に戻ってきました。両親からの勧めもあり盛岡ガス㈱に入社する事となりました。会計の知識が少しあったので、盛岡ガス㈱の財務内容をみて最終的に判断しました。社会のインフラを扱う企業ですので、やりがいもあるのではないかと思いました。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入社する前の話では公務員的と聞いていましたが、良い意味で裏切られたと思っています。もっと静かな職場を想像していたのですが、皆さん活発にコミュニケーションをとっています。私は中途採用なのですが、分からない事を何でも教えて頂いております。環境に溶け込めるように、上司の方も声をよくかけて下さって非常に家族的な雰囲気であると感じております。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

先日、ビルトインコンロの見積で訪問したお客さまから、話しやすそうな人でよかったとの言葉を頂きました。私自身、非常に嬉しい言葉でした。これからもお客さまの話しをよく聴いて、ご満足頂けるガス器具を提案していきたいと思っています。

Q. これからの目標を教えてください。

ガス器具の知識をさらに増やしていきたいです。どのようなお客さまの希望にも適切な提案が出来るようになっていきたいです。その先には、村上さんから買いたいとご指名を受けるような営業マンを目指しています。また、後輩が増えていく中で自分自身が仕事を覚えるだけでなく後輩に指導できるよう理解を深めていきたいです。

インタビュアー：営業部　リフォーム課　山口　将輝

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

盛岡ガス株式会社
〒020-0066　盛岡市上田2-19-56
URL　https://www.morioka-gas.co.jp/

TYPE F

ITで岩手を変える！～第二の故郷での挑戦～
エクナ株式会社　伊勢谷 健悦さん



秋田の高校を卒業後、大学進学のために盛岡に移住した伊勢谷さん。在学中に、盛岡の魅力に触れ、地元ではなく、第二の故郷である盛岡で就職活動を行いました。「常に新しいものが好きで、そのような機会に恵まれた環境で働きたい」という思いを胸に、現在の会社に入社し、営業として活躍しています。

ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

Q. どのような仕事をしていますか？

岩手県内の民間企業様を中心に営業活動を行っています。主に、高速印刷機や会社の基幹業務を担うシステム、ネットワークやセキュリティといったIT関連の商品をお客様に提案をしております。多様な商品を取り扱っているため、覚えることが多く大変な仕事ではありますが、ご提案した商品がお客様の課題解決の一助となったときは、非常にやりがいを感じています。

Q. 実際に入社して感じていることを教えてください。

入社前は営業職にあまり良いイメージを抱いていませんでしたが、いざ入社してみると職場では若い社員の方も多く在籍しており、年の離れた上司の方とも気軽に話せる環境が整っていると感じました。現在は営業として４年目になりましたが、IT業界に従事する中で、岩手県のIT化は他県と比べるとまだまだ進んでいないと感じています。そのため、今後の岩手県のさらなるIT化に向けて、積極的に貢献することができる現在の仕事には日々やりがいを感じています。

Q. これまでの仕事で印象に残っていることを教えてください。

県内の自治体様に初めて提案したシステムを導入していただいたことです。新規の自治体様に訪問した当初は、「IT化には取り組んでみたいが、導入しても効果が見込まれるか分からない」とのことで、前向きに検討していただけませんでした。しかし、実際にシステムの機能を見ていただき、お話を伺う中で、お客様の潜在的なニーズを見つけることができ、提案から２年の歳月を経て受注まで至ったときは達成感でいっぱいでした。また、この機会をきっかけに、他の自治体様とのお取引に発展し、岩手県のIT化に貢献できたと実感する経験でした。

Q. これからの目標を教えてください。

将来的には技術者のサポートを借りることなく、自らの力でお客様の課題に気づき、提案できる営業を目指していきたいです。そのためには、商品知識を身につけていくことはもちろんですが、お客様から信頼され、一社員のように扱っていただけるような関係性を築いていくことが重要であると考えています。社内には目標とする社員が多く在籍しているので、吸収しながら、目標に近づけるよう日々の仕事に真剣に向き合っていきたいです。

Q. 就活する学生へのアドバイスをお願いします。

就職活動を行っていく中で、都市圏での就職ばかりに目が行きがちではないでしょうか。新たな環境へのチャレンジとして、間違いではないですし、企業数を見ると、都市圏が圧倒的に多いことは事実です。しかし、地方にも魅力的な企業はたくさんあります。岩手から全国・世界へ展開している企業や全国区の大手企業の関連会社など…。コロナ禍という特殊な状況化での就職活動となりますが、視野を広く持ち、前向きに活動してください。応援しています。

インタビュアー：エクナ株式会社　　藤林　星来
ーーーーーーーーーーーーーーーーー-

株式会社エクナ株式会社
〒020-0122　盛岡市みたけ3-18-33
URL　https://www.echna.co.jp/